

はっぼう

議会だより

春到来。テリが大漁！（八森漁港）



3月
定例会

- 新年度事業…………… 2ページ
- 3月定例会ダイジェスト…………… 3ページ
- 予算委員会質疑・付帯意見…………… 6ページ
- 町政を質す（一般質問要旨）…………… 8ページ
- 一般質問…………… 9ページ
- 議会全員協議会…………… 14ページ
- 臨時会・議員表彰・お知らせ…………… 15ページ
- 退任議員のあいさつ・編集後記…………… 16ページ

町民の皆様へ ～お世話になりました～

私は、任期満了の4月22日で議員の職務を辞することに致しました。

4年間、町民の皆様から温かいご支援、ご教示をいただき、先輩や同僚議員、関係者の方から多くのご指導も賜り、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

町として次々と大きな事業や町民に寄り添った数々の施策が行われ、少しずつではありますが、住民の生活が向上していることに喜びを感じてまいりました。

一方、誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症は、町民の皆様に大きな影響をもたらしています。少子高齢化に伴う人口減少など町の課題が山積する中、コロナ禍への対策も急がれるところであり、未曾有の事態を乗り越えるため、新しく選ばれる議員の方々に町の将来を強く託したいと思っております。

昨今は議員の成り手不足も喫緊の課題に挙げ

られます。私自身も、4年前に議員選挙の立候補予定者が定数に満たない状況下、出馬を決めました。

私が峰浜村議選に出馬したのは30代でした。当時のように若者が挑戦するケースが見られなくなり、町の活気もない状況ですが、4月12日告示、17日投開票の町議会議員選挙には若者の新人議員が立候補を予定しているようで、大変喜ばしいことと受け止めています。

今後も町議会の活動に興味を持ち、町のために汗を流したいという多くの若者が表れてくれることを願っております。

本来であれば、お世話になった方々に拝趨し、お礼を申し上げるべきところ、町民の皆様へ全戸配布の「議会だより」誌上をお借りしての挨拶となりましたことにご理解賜りますようお願い申し上げます。

八峰町の更なる発展を願い、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年3月19日
八峰町議会議員 芹田 正嗣



- 議会広報編集委員会
- 委員長 皆川 鉄也
 - 副委員長 山本 優吉
 - 委員 腰山 良聡
 - 委員 山本 悦子



「光陰矢の如し」と申す。この任期最後の町議会が、皆様により集まるといって過言ではない。この1年、皆様からのご愛読、ご声援、ご教示をいただき、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

（記 皆川 鉄也）

編集後記

町の将来像「白神の自然と人とで創るやすらぎのまち」実現のための骨格予算を編成

令和4年度まち・ひと・しごと創成総合戦略事業について



施設の老朽化により6月末で廃止の湯っこランド

予算の重点方針（主要事業）

★仕事づくりのための産業振興

- ・菌床しいたけ産業基盤強化事業
- ・生薬栽培推進事業
- ・空き公共施設活用支援事業
- ・地域連携DMO推進事業(*)
- ・人材育成事業

*【DMO(観光地域づくり法人)】
自然、食、芸術など地域の観光資源に精通し、明確なコンセプトに基づき地域と共同して観光地域作りを行う法人 (Destination Management Organization の略)

★定住・移住対策

- ・定住促進用空き家改修事業
- ・住まいづくり応援事業
- ・若者世代生活応援事業
- ・情報発信強化事業
- ・テレワークモニター事業

★少子化対策

- ・出会いの場創出事業
- ・子育て世帯負担軽減事業
- ・子育て世代包括支援センター
- ・ICT教育等環境整備事業
- ・ふるさと教育推進事業

★人口減少社会への対応

- ・高齢化社会に対応した地域公共交通のあり方検討事業
- ・交通空白地における有償運送事業への補助
- ・バス乗車券類購入への補助（半額助成）

3月 定例会
ダイジェスト

3月定例会は2月25日(金)から3月11日(金)までの15日間の日程で開催し、令和4年度当初予算や人事案件等追加を含め32議案が上程されました。そのほか、陳情2件、発議1件を審議しました。一般質問では、5人が登壇し、町政を質しました。



人事案件を無記名投票により採決

令和4年度一般会計予算

一般廃棄物処理施設整備の負担金、新型コロナウイルス感染症関連事業などを盛り込んだ総額62億4200万円

反対討論

見上 財政調整基金残高が非常に多い。一部を運用して福祉・社会保障を増額すべき。800万円の負担で給食費・保育料が無料となる。地元に残る高校生の普通自動車免許の資格取得助成を行うべき。税の減免申請を受けやすくし、国税の負担軽減を図るための施策がない。

賛成討論

皆川 新年度予算は骨格予算ということで、予算特別委員会でも時間をかけて議論した。その結果、骨格予算として評価ができるかと判断している。町長が再選されれば、これに政策的予算等が補正予算として提案される。

令和3年度補正予算

補正予算の主な内容

●除雪費3790万円の追加(専決処分)

(全員賛成で承認)

●事業の実績見込み等に基づき1億4865万円減額

(全員賛成で可決)

一般議案

●八峰町固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例制定について

●八峰町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

●非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和等措置のための条例改正

議会から町へ(質疑)

質問 1年雇用が前提の非常勤職員(会計年度任用職員)の育児休業等を認めるのは整合性が取れないのでは。休む間も給与を支払うことになるのか。

答弁 国の少子化対策の考えに合わせ、市町村でも環境整備を行う。継続して勤務の意思があれば働けるようにしたい。休暇中は無給である。

●八峰町立体育館条例の一部を改正する条例制定について

老朽化により岩館体育館を削除する条例改正

●八峰町文化財保護条例の一部を改正する条例制定について

地域において重要とされる文化財等の登録制度を新設する条例改正

●八峰町営住宅設置条例等の一部を改正する条例制定について

町営住宅が地域活性化住宅に切り替わることに伴う管理戸数変更の条例改正

議会から町へ（質疑）

質問 町営住宅が築30年経過すると地域活性化住宅となるが、すべて移行するのはいつか。また、新たに町営住宅を建設する予定は。

答弁 令和16年に全ての町営住宅が移行予定。新たな住宅建設の予定は無い。

質問 入居者への説明は。移行することで家賃等の変更はあるのか。

答弁 毎年の家賃の決定通知と一緒にお知らせする。家賃や敷金の変更は無いが、収入超過となった場合、町営住宅の場合は退去だが、地域活性化住宅の場合は町独自施策で退去しなくてもよくなる。

質問 住宅の譲渡等、柔軟に対応すべきでは。

答弁 町の施策として有償譲渡を可能とすることは今後あり得る。

●公の施設の指定管理者の指定について

八峰町農林水産物直売所「ぶりこ」、八峰町菌床しいたけホダ生産・栽培研修施設「峰浜培養」の指定管理者の指定。

（すべて全員賛成で可決）

八峰町沢目財産区管理委員の任命

○柴田正高氏（目名濁・新任）



人権擁護委員の推薦

○小林金則氏



（高野々・再任）

○太田たかね氏



（塙・再任）

○工藤金悦氏



（浜田・再任）

○藤田吉孝氏



（立石・新任）

※沢目財産区管理委員、人権擁護委員は簡易表決により全員賛成で同意しました。

人事案件

八峰町教育委員の任命

○阿部昌子氏（水沢・再任）



無記名投票の結果
賛成11人
反対0人の
全員賛成で同意

谷健一

この陳情に反対します

山本 中小企業の支援については賛同するが、月150時間の労働で最低賃金15000円という要求は勝手で理不尽ではないか。農漁業者は労働時間が長い。この賃金が付加された値段の農作物等は売れなくなる。大きい会社しか実現できない。

この陳情に賛成します

見上 労働時間については土日祝日が休みであれば適切である。最低賃金についても、国が補填しなければいけないと政府も言っている。若者の定着のためには賃金を上げることが必要。

（賛成少数で不採択）

発議

ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議書

（ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議）

決議書の内容

ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻に対し強く抗議し、世界の恒久的平和の実現に向け、ロシア軍の即時に安全かつ無条件での撤退を強く求めるもの。政府においては、国際社会と連帯しての戦争を止めるための具体的行動、わが国への影響対策等に万全を尽くすよう要請する。

（全員賛成で可決）

賛否が分かれた議案・陳情の採択結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全員賛成で可決されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○	議長は採決には加わりません	不採択
最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○		不採択
令和4年度八峰町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和4年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和4年度八峰町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
令和4年度八峰町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決	
令和4年度八峰町沢目財産区特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	可決	

陳情

最低賃金の改善に係る陳情2件を不採択

不採択となった陳情

●「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書

（提出者 秋田県労働組合総連合 議長 越後谷健一）

この陳情に反対します

山本 最低賃金を全国一律とすることに理想的ではあるが、あわせて物価が上がれば意味がない。秋田県と東京都の賃金を同じとするのは不可能であり反対する。

笠原 時給が大幅に上がると、賃金で赤字になり人を雇うことが出来なくなる。八峰町では働く場所がなくなる。

この陳情に賛成します

奈良 政治というものは限りなく理想に向かい近付くものである。地方と都会の格差をなくすためにも一律の賃金は必要と考える。

見上 日本経済の鍵を握る中小企業の活性化のためには個人消費を拡大させなければいけない。そのためにも労働者の賃金を引き上げることが必要。

若者の定着なくして地域の発展はない。

（賛成少数で不採択）

●最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

（提出者 秋田県労働組合総連合 議長 越後

質疑

(特別委員会)

新年度予算審査

ここが聞きたい!

町から提出された令和4年度の予算案を、分科会
の中で、委員から町政全般にわたって数多くの
粹し紹介します。

および全体会において4日間にわたり審査しました。
質問が出ました。ここでは町からの回答と併せて抜

問 人権擁護委員に報酬は出せないのか。
答 法律上、無報酬と決まっている。活動に係る実費相当については、協議会から支出されている。

問 八峰町への移住者に支給される移住支援金の対象地区は東京23区だけか。
答 23区内の居住者、もしくは23区内の企業等への通勤者。

問 新年度の巡回バス関連の予算はいくらか。またバスは何台リースするのか。
答 関連予算は約3800万円。車両は3台をリース。

問 ホームページの更新等システムの新設計上されているが、新しいホームページはいつから運用できるか。
答 プレミアム率が50%と大変お得な事業ではあるが、若い世代にとって一時的に立て替え払いとなることが負担となっているようだ。事業の存続並びに見直しを検討する。

問 道の駅移転の際、観光市の位置づけは。
答 立地的に難しいが、出品等にか協力してもらえないかを探りたい。

問 中浜地区中心部上水道整備で分譲地に下水道公共ますが設置されるが、土地を分譲するにあたって下水道分担金は発生するか。
答 下水道分担金のほか、水道加入料と併せて今後検討する。

問 橋梁補修で神陣橋の予算が5700万円となっているが、交通量の少ない橋に多
答 できれば年内に完成させたいが、プロポーザルの入札を検討している。現在のホームページのデータ移行等、業者決定してからでないか不明な点もある。

問 町営診療所と埴川分院の統合スケジュールは。
答 埴川分院の医療機器更新に過疎対策債を充当していることなども踏まえ、今後具体的な時期を検討していく。

問 若者世代生活応援プレミアム50商品券交付事業の実施状況と見直しは。
答 プレミアム率が50%と大変お得な事業ではあるが、若い世代にとって一時的に立て替え払いとなることが負担となっているようだ。事業の存続並びに見直しを検討する。

問 法定点検の結果、神陣橋は判定区分Ⅲと診断され、予防保全の対策が必要である。橋長が長い他、高所に架かる橋であるため予算額が大きくなっている。
答 ファガスの動いていないエレベーターの更新は。
答 ファガス・文化ホールの施設全体が経年劣化及び塩害により修繕を重ねながら維持管理している状態。エレベーターの更新は考えていない。高齢者の参加するイベントは1階で行う等の工夫をする。

問 障害福祉費の地域活動支援センター運営事業委託料の内訳は。
答 障害のある方の生活活動や就労支援のお試し利用などを行う支援センターを「さくら園」に委託する。支援職員の人件費及び事業所経費を計上。

問 農地の貸借の際、未相続のため契約困難な事例が見受けられるが、どのような対策があるのか。
答 農地の貸借については、法定相続人の1/2を超える者からの同意があれば契約可能。未相続問題に関しては、「相続登記の義務化等」についての法案が成立したので動向を見守りたい。

問 生業について、これまで寄付金により農家収入の差額を補填していたが、その差額ほどのくらいか。
答 作業の効率化と単収が向上したことにより、現在、差額に対する補助は行っていない。

問 キキョウの生産額の伸びと単収は。
答 キキョウの龍角散に対する出荷量は、R2年度約100kgだったものがR3年度には約200kgとなっている。定植面積を拡大し、さらなる出荷量の増加を図りたい。

問 R3年度のサルとクマの捕獲状況は。
答 サルは78匹、クマは31頭。

問 キャンプ場利用料増加の理由は。
答 コロナ禍により屋外施設利用が人気となったことや開場時期の拡大による。

問 サーモン養殖事業の今後の予定は。
答 生質を倍に広げたいという意向を聞いています。実施する場合はつくり育てる漁業補助金の活用もあり得る。

問 除却施設については優先順位をつけて予算を助案して順次実施している。
問 使用していないサケマスふ化場の解体工事が令和4年度の理由は。
答 除却施設については優先順位をつけて予算を助案して順次実施している。

問 経年劣化と立地位置による塩害腐食により今後も補修費の増大が見込まれる。施設の長期使用が可能となる維持・管理計画を検討すること。
意見3 文化交流施設(ファガス)の維持管理計画の検討

意見4 学校給食、材料費の材料費値上げの対応
コロナ禍による輸入品の小麦・原油等の値上がりに伴い、給食原材料費の負担が増加し、児童生徒への安心安全な給食の提供が維持できなくなるのが危惧される。材料費値上げに対応すること。



利用停止中のエレベーター

予算に対する議員からの意見

令和4年度予算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、3月11日議会終了後、町長に対して付帯意見として提出しました。その内容を紹介します。
なお、この意見に対する町からの回答は次号以降の議会だよりに掲載します。



意見1 巡回バスについて

本格運行後の巡回バスについては利用者のニーズや利用状況等を踏まえ、柔軟に対応しその利便性の向上に努めること。

意見2 スクールバス送迎運行の見直し

近年、熊や猿などの害獣が住宅地あるいは通学路に出没しているほか、冬季には積雪による通学路の狭隘で通行の危険性が高まっている。児童生徒の安全

を最優先した通学となるよう運行の見直しすること。

意見3 文化交流施設(ファガス)の維持管理計画の検討

経年劣化と立地位置による塩害腐食により今後も補修費の増大が見込まれる。施設の長期使用が可能となる維持・管理計画を検討すること。



御所の台オートキャンプ場

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5人の議員が一般質問

一般質問では5名の議員が町政について質問しました。

p 9 山本 優人 議員

- 1 洋上風力発電と地域振興等について
- 2 荒廃する農地対策について

p11 見上 政子 議員

- 1 地域公共交通の在り方
- 2 少子化対策

p13 芦崎 達美 議員

- 1 県道と町道の除排雪について
- 2 歩道の除雪が遅れた際のスクールバスの利用について

p10 笠原 吉範 議員

- 1 あきた白神体験センターの指定管理について
- 2 新型コロナウイルス感染情報について

p12 腰山 良悦 議員

- 1 巡回バスの試行運行について
- 2 高校生の通学費助成について

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考えなどの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。

質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしています。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

風車稼働前に

振興策協議を

町長 関係者と

意見交換の場を設ける

山本 「八峰町・能代市促進区域」でも、売電価格が低価格だと抛出金に期待できない。選定事業者が決定後、直ぐに交渉できるよう町の地域振興策を詰めておく必要がある。風車稼働を待っての地域振興策

町長 選定事業者が決まった際には、地域共生策について、町内の関係団体等とともに意見交換

でなく、風車稼働までの間に前倒しで事業者と漁業や経済等の地域振興策について個別協議することが重要だ。

できる機会を設ける。

町内の関係者の部分は商工会、漁協等とも相談しながら前向きに開催する方向で検討する。

山本

風力による地域の将来を決める機会であり、電動シニアカーによる町内交通システムなど大胆な構想

を事業者に求めることも必要。

町長

風車の電気代を賄うという実現可能性の高いもの、この町に必要な地域振興策が何なのかを相談の上、実現に結び付けていく。

せなくなっている。これでは、はしごを外されている話であり、町としても認められない。八峰町だけで解決でき

きる問題ではないので、県や全県の市町村、全国の農業団体等とも手を繋ぎながら対応していく。

水田活用交付金の

維持・継続を

町長 全県レベルで

連携し対応する

山本 国は今年度から5年以内水田をしない転作農地を交付金の対象外とすることを決めた。米が余っているから、国の言う転作で生産調整に協力し、農地集積せよと言われて、畔がない農地も借りて耕作をしてきた。政策転換で大減収となる農家、荒廃する農地が増えた

ら耕作放棄地が増えることは間違いない。そして熊、サルなどの有害鳥獣がもつと人里に近いとところに出てくることを誘発する。八峰町が一番先に手を挙げて国に異論を唱えるべきだ。

町長 国の政策に従って高収益作物の方に転作した農家は、今更水田に戻



山本 優人 議員



横間の耕作放棄地



見上 政子 議員

見上 巡回バスに
関する会議
が頻繁に開催されてい
るが、町民への周知が
遅く進展していない。
運行コースや時間、待
合場所や乗り換え、更
には時刻表・料金など
を考えると本運行10月
の3ヶ月前までにこの

町長 地域公共交
通の在り方
については、町広報や

地域公共交通の 在り方は 町長 関係機関との 協議・調整必要

チラシの配布、ホーム
ページへの掲載などで
周知し、既存の路線バ
ス岩館線と大久保岱線
を運休し、新たに能
代・峰浜線とする試行
運転となったものであ
る。

公共交通会議の意見や
バス事業者との利害関
係など町単独で決定す
ることは困難である。
その時々状況や環境
に応じながら関係団体
や機関と協議・調整を
図り、柔軟な対応が必
要であると考えている。



ローステップが装備された巡回バス

町長 就職は本人
の将来設計
や人生設計、仕事のや
りがいや給料優遇面な
どで行われるものであ
り、一時金の支給は必
要ないと考える。
若い大人を増やす住
まいづくり応援事業と
して「結婚新生活支援
事業」「空き家活用住宅
事業」などを用意して
おり、厳しい財政事情
を考慮すると、今ある
事業を有効活用して頂



笠原 吉範 議員

体験センター 指定管理の更新は 教育長 令和4年度から 5年間継続

笠原 体験センタ
ーの指定管
理について、選定委員
会でどのように提案・
交渉をし、県の答弁は
どうだったのか。
教育長 昨年7月
8日に県
教育庁生涯学習課を訪
問し、指定管理継続に
ついて要望を告げた。
継続の方向で検討する

笠原 道の駅移転
構想の中で、
ハタハタ館の宿泊施設
として使用できないか
との回答を得た。
しかし町への譲渡を
伺わせる発言もあった。
11月15日に選考委員
会が開催され、ヒアリ
ング審査を受け指定管
理候補に決定し、12月
県議会で承認された。



体験センター (左) とハタハタ館 (右)

等、県条例に縛られな
い使用方の提案が重要
と考える。
町長 ハタハタ館
と体験セン
ターは廊下で繋がって
いるにもかかわらず、
一体的に使用すること

に対し県に伺いを立て
なければならぬのが
現状である。
5年間の指定管理の
期間中、1年ごとに個
別の協議がありその中
で交渉する。

コロナ感染者 市町村別の発表を 町長 感染者が特定され 誹謗中傷の恐れ

笠原 新型コロナウイルス感
染者数の市町村別発表
がない。
そのため町内に感染
者がいるか分からない
ことから、いたずらに
不安を煽り、各種会合
が中止となっている。
このままでは住民同士
の交流の場もなく、一
人暮らしの高齢者にお
いては鬱や認知症とい
った心配がある。
「ウイズコロナ」の
時代、正確な情報に基
づいた経済活動をとる
必要があると考える。
県に市町村別感染者
数発表の要望を。

町長 これまでも
県の会議に
おいて、市町村長から
同じような要望が出さ
れている。県としては、
感染者が特定され誹謗
中傷の恐れがあること
から、市町村別の発表
は出来ないとしている。
要望しても県の方針は
変わらないと考える。

少子化対策強化を 町長・教育長 厳しい財政事情を考慮

見上 人口減少は
あらゆる対
策を講じなければどん
どん加速する。
定住や子供を産み育
てる環境を充実させる
ための地元就職者への
支度金制度、結婚支度
金と格安住宅支援、保
育料や給食費、高校生
への定期代補助など考
えられないか。

教育長 保育料や
給食費の
保護者負担軽減は、こ
れまで実施している対
策で十分な経済的負担
軽減に寄与していると
考える。
高校生の定期代補助
については自家用車や
自転車、列車通学など
多岐多様であり補助は
困難であると考えている。



芦崎 達美 議員

芦崎 石川地区では1本の道路が県道と町道に分かれており、除雪をする日が県と町とで異なっている。できれば同じ日に除雪作業を実施すべき。

町長 普段の一般除雪に関し



十字路の左が県道、右が町道

芦崎 除雪の遅れで生徒が登校できない場合、送迎できる家庭とできない家庭があると思う。全地域の生徒を冬期間だけでもスクールバスに乗せることができないか。

教育長 令和2年9月議会の付帯意見に基づいて新たに定めた運行管理要綱では、従来よりも利用地区を拡大したほか、通年乗車できる形態としている。

また、運行費用を抑えるため、小学生と中学生の乗合区間を設定した細かい運行ルートによって運行している。全地域の生徒の冬期間乗車については、運行ルートの増設や増車に

伴う経費のかかり増し・発車時刻の繰り上げによる児童生徒及び保護者の負担の懸念、さらに今般の大雪の際は、狭隘な道へのバス等大型車両の乗り入れで通勤時間帯の一般車両の妨げになるケースもあったので、非常に困難であると考えている。しかしながら、大雪等で登校できない生徒を家族が送迎できないケースも考えられるので、スクールバス運行事業全体の在り方を検討していく中で様々な方向性を模索していく。



腰山 良悦 議員

腰山 昨年10月から路線バスが運休となり、新たな巡回バスの試行運行を始めて間もなく半年になる。これまで利用者からどのような意見や要望が寄せられているか。また、それらを踏まえて、今後、本格運行前にルート・時間など見直す考えは。

町長 一部ルートの変更、車内ベル、乗り降りのステップや待合所を作つて欲しいなどの意見や要望がある。ベルは取り付けし、ステップとハンドレール付きの車両が年度末には納車される。待合所については、優先順位を付けて設置の検討

巡回バスのルート等見直しは 町長 現時点では このまま運行

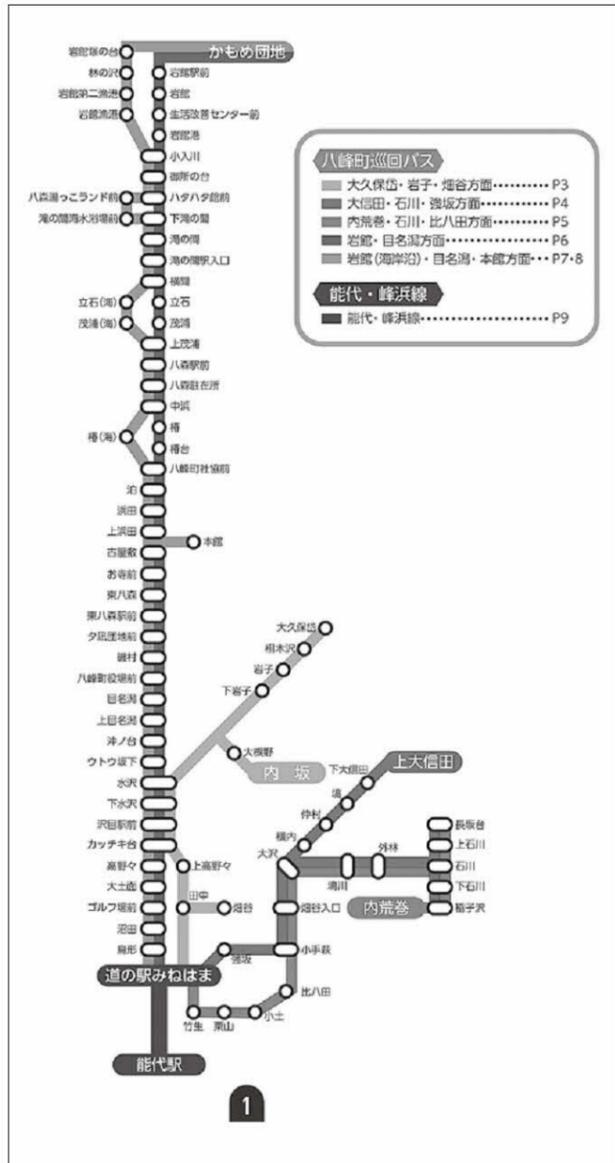
県道と町道の除雪を同日に 町長 県部局に相談し 対策を検討

腰山 高校生の保護者は、クラブ活動などの事情で学校へ車で送迎している方もおり、労力や経

腰山 保護者の大きな負担にもなっている。通学費軽減のため、列車や車の通学手段にかかわらず、費用の一部

腰山 高校生の保護者は、クラブ活動などの事情で学校へ車で送迎している方もおり、労力や経

腰山 保護者の大きな負担にもなっている。通学費軽減のため、列車や車の通学手段にかかわらず、費用の一部



巡回バス路線図

を行っていく。また、ルート・時間など見直す考えについては、利用者も今の運行体制に慣れ始めている

北バスの運行時刻の変更が予定されていないことから、現時点ではこのまま運行を続ける。

腰山 路線バスの運休により、利用したい時に利用できない、停留所が遠くなり不便になったなどの声がある。

町長 不便にならないような形でシステムを作り上げていく。

通学費に一律助成を 教育長 公平性の面から 問題がある

を一律助成する考えはないか。

教育長 多様な通学形態となっており、一律に支援することについては、公平性の面から、難しいものと考えている。

腰山 通学が大変で能代市等への転出を考えている保護者もいると聞いて

おり、残される高齢者家族は心配している。助成することが定住に繋がり高齢者家族の不安を払拭できるのではないか。

町長 通学形態があまりにも違い過ぎるので、一律という考え方は非常に難しい。

全地域の生徒に 冬期間のバス利用を 教育長 経費増等への懸念から困難

2月21日に議会全員協議会が開催されました。協議1件、報告6件の内、3件の報告を抜粋して掲載します。

【報告】

①高齢者コミュニティセンター「湯っこランド」の廃止について

町からの説明

湯っこランド（平成2年竣工）は経年劣化等による施設の老朽化が著しく、過去5年間を見ても、赤字幅が大きくなっている。

利用者の安全確保・サービス提供のために、改修が廃止かを考えた場合、改修するとしても補助事業等が活用できないので、費用対効果等の観点から適切ではない。

利用頻度の多い「生きがいいデイサービス事業」については、近接地に「いさりび温泉ハタハタ館」があることや、代替事業として八森峰浜ふくし会の「通所型サービスA・C事業」もあることから、影響は少ないと考える。令和4年6月30日をもって廃止としたい。

議員から町へ

質疑 新年度予算に4〜6月の維持管理費が計

令和4年第2回臨時会（2月8日）

新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業等の追加予算を可決

（主な歳出の事業内容）

○大学生等に一人当たり5万円を支給

○所得制限等により臨時特別給付金を受け取れなかった子育て世帯に10万円を給付

○高校生・大学生への抗原検査キット配布

【補正予算 1億6544万4千円】

（この他、除雪経費4929万8千円の追加補正を専決処分）

主な質疑

（議員から町へ）

質問 除雪だけでなく排雪をしないと道路が危険。緊急時や家屋が壊れた場合等の連絡先は。

回答 防災まちづくり室、建設課で24時間対応している。

質問 町で行っている小型除雪機の貸出状況は。

回答 保有する10台のうち、8台を自治会に貸出している。

質問 個人で家の周りの除雪を頼んだ高齢者から4万円かかったと聞いた。除雪費の相場は把握しているか。

回答 町道等は町から業者に除雪委託しているが、町を通さず個人で頼んでいる所については把握していない。

質問 担当の除雪オペレーターが変わると、町の雪捨て場や空き家等の状況が分からず除排雪

答 他町村の類似施設の状況を調査したところ、ハタハタ館のように入湯税相当額のみという所は無い。以前そうしていたところでも見直しして指定管理料を増額している。

質疑 町長がハタハタ館の社長も兼任しているが、「これからの4年間で立て直す」という姿勢が必要。今回の支援で最後という覚悟で取り組むべき。

指定管理料を上げるより、戦略的な経営・宿泊施設としての整備を考えた方がいいのでは。答 ハタハタ館は無くしてはいけないという考えで、指定管理料を適切に設定し、議会からの意見をもらいながら取り組みたい。

③国道101号峰浜水沢工区の事業概要について

町からの説明

水沢地区の国道は①急カーブ、急勾配の存在、②車道の幅が狭く大型車の対向車線へのはみ出しが発生、③歩道の幅が狭く危険、④見通しの悪いカーブが存在し事故が多発している、という課題がある。

バイパス整備によりこれらの課題を解決するとともに、緊急輸送道路としての機能向上を目的に、国の交付金補正予算にエントリーしたところ、内々示をもらえた。

議員から町へ

質疑 現在ある歩道橋は残す予定か。

答 地域要望でもあり、残す予定。

が進まなくなる。

回答 オペレーターは基本的に2年間同じ路線を担当してもらう。オペレーターが代わる時は、必ず前任のオペレーターから路線を一緒に回ってもらい注意事項を含め引き継いでもらっている。

質問 報償費の予算も追加されているが何人分か。午前3時頃には除雪しているようだが、健康管理と事故防止に気を付けてほしい。

回答 除雪オペレーター2名について計上。冬季は早朝からの業務となるので、勤務終了時間を16時15分から12時に変更している。

質問 子育て世帯臨時特別給付金について、960万円以上所得がある世帯にも給付するのか。回答 親の所得に関係なく給付する考えとした。

長年町村議会議員として尽力された功績を称え表彰されました

秋田県町村議会議長会から11年以上議員在職者として腰山議員、皆川議員、芹田議員、山本議員が表彰されました。



急カーブ、狭い車道が続く該当箇所

今月の表紙 テリ（ウスメバル）漁



晴天の元、「春告げ魚」とも呼ばれるテリ（ウスメバル）を網から外す春の漁港の風景です。